

## ■副専攻(AI活用エキスパートコース)で育成する人材

データサイエンス及び人工知能の基礎的知識とスキル、論理的思考・デザイン思考・データ思考などの情報技法、プログラミングリテラシーなどの基盤的な技法を身につけた上で、データサイエンス及び機械学習を応用した様々なツールを活用して実社会の問題に取り組むことができる課題解決のエキスパートを育成する。

## ■対象学生

2021年度以降入学生（データサイエンス学部を除く。）

## ■申し込みおよび継続について

- コース履修生の募集は2学期にMUSCATにて行う。コース認定を目指す学生は、案内に沿って申し込みをすること。
- コース申し込みをした年度の4学期終了時点で「データサイエンス基礎」「人工知能基礎」「情報技法基礎」「プログラミング基礎」の4科目を単位修得していること。要件未充足の場合は申し込みを取り消しとする。

## ■コース認定の要件について

コース申し込みおよび継続の上、卒業までに所定の科目群から副専攻(AI活用エキスパートコース)の認定に必要な必修6科目(7単位)、副専攻(AI活用エキスパートコース)の認定に必要な選択必修5科目(5単位)、合計11科目(12単位)以上を修得した場合、コース修了認定を行う。認定者に対して、大学より「コース修了証書」を発行する。

## ■卒業所要単位上の位置づけについて

入門科目群の2科目を除き、「自由選択科目（所要単位を超える武蔵野INITIAL科目）」として算定される。

## ■履修者の人数制限について

- 各クラスの定員を超過する応募があった場合、人数制限を実施する場合がある。
- 人数制限の結果、履修を許可されなかった場合、次年度以降に履修登録する機会がある。
- 履修登録方法は説明会にて案内予定。指定した履修登録期間以降の登録はできないため注意すること。

科目及び単位数 -2022年度入学生-					
科目名	開講 学年	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
		コース 必修*	選択		
<b>【入門科目】</b>					
データサイエンス基礎	1	1			
人工知能基礎	1	1			
<b>【基盤科目】</b>					
メディアリテラシー	1		1		
情報技法基礎	1	1			
プログラミング基礎	1	1			
情報技法発展A	2		1	◆「情報技法基礎」を修得していること	【1】「情報技法発展A～C」「プログラミング発展A～B」の5科目から、2科目計2単位を選択必修
情報技法発展B	2		1	◆「情報技法基礎」を修得していること	
情報技法発展C	2		1	◆「情報技法基礎」を修得していること	
プログラミング発展A	2		1	◆「プログラミング基礎」を修得していること	
プログラミング発展B	2		1	◆「プログラミング基礎」を修得していること	
<b>【専修科目】 ※副専攻(AI活用エキスパートコース)申込者のみ履修可能</b>					
人工知能技術と社会	2	1			
機械学習活用1	2		1	◆「機械学習活用1」「機械学習活用2」をセットで履修すること	【2】下記のいずれかを選択し2科目2単位を選択必修 ○3年次で人工知能実践プロジェクト[機械学習活用トラック]を希望する学生は「機械学習活用1,2」を履修
機械学習活用2	2		1	◇「人工知能技術と社会」を同時に履修すること	
データサイエンス活用1	2		1	◆「データサイエンス活用1」「データサイエンス活用2」をセットで履修すること	○3年次で人工知能実践プロジェクト[データサイエンス活用トラック]を希望する学生は「データサイエンス活用1,2」を履修
データサイエンス活用2	2		1	◇「人工知能技術と社会」を同時に履修すること	
メディアデザイン	2		1	◇「人工知能技術と社会」を同時に履修すること	【3】「メディアデザイン」「サービスデザイン」の2科目から、1科目1単位を選択必修
サービスデザイン	2		1	◇「人工知能技術と社会」を同時に履修すること	
人工知能実践プロジェクト	3	2		◆「人工知能技術と社会」、【2】【3】で必要な選択必修科目の単位を修得していること	

\*副専攻(AI活用エキスパートコース)認定のための必修科目です。卒業所要単位上の必修・選択区分については各学科の開講表をご確認ください。